

新幹線原点のまち 藤枝

～ 新幹線開発試験の地 ～

2014年は新幹線誕生50周年

The history of SHINKANSEN has started here in FUJIEDA.

在来線(狭軌)の時速160Kmは、東海道新幹線(標準軌)の時速200Km走行可能の証明

- ・昭和34年7月、国鉄技術陣の総力をあげた「こだま高速度試験」において、藤枝・瀬戸踏切で時速163Km(世界最高速度)を達成!
- ・昭和35年、新幹線仕様の「第三線」を敷設して様々な試験が藤枝・上青島で実施!



<昭和34年7月27日 藤枝駅にて(会所有)>

明治22年から藤枝駅を見守る赤レンガ油庫から一言“ふんとにそーだに”



<昭和57年ごろの遺構 陣屋踏切から西方面を撮影(撮影:山内)>

「こだま高速度試験」

昭和34年7月、金谷→藤枝間の上り線で実施。7月31日に藤枝・瀬戸踏切で狭軌世界最高速度163Km/hを樹立。東海道新幹線の実現を証明した!



狭軌世界最高速度樹立
“チャンピオンプレート”

試験線「第三線」(一番右の線路・現在の上り線)

藤枝・上青島付近を拡幅、東海道新幹線で使用予定の線路・架線・路床などを備えた試験線を増設。昭和35年11月の総合試験では、試験車クモヤ93形が狭軌最高速度175Km/hに更新。

「新幹線原点のまち藤枝を伝える会」会員募集中

電話：054-631-9901(合同会社太陽ホスピタリティー) PCメール：fujieda163@gmail.com

- 活動
- ・7月31日に「こだまの日イベント」
 - ・東海道新幹線を世界遺産に！を藤枝から発信
 - ・いつでもミニ新幹線に乗れるまちになったらいいなプロジェクト・・・5インチゲージミニ新幹線乗車会



(運行協力:太陽ホスピタリティー)